

WEB 版

道徳だより

# こころのたね

令和7年5月 12 日  
大田区立馬込小学校  
校長 山本 秀一  
道徳部  
令和7年度 第1号

## あらためて道徳とは

ゴールデンウィークも終わり、令和7年度第1号の道徳だよりとなります。遅くなりましたが、今年度もご拝読のほどよろしくお願いいたします。本校の道徳授業を保護者・地域の方々にお知らせしていきたいと思ひます。

さて、第1号では、あらためて道徳とは何かを考えていきたいと思ひます。辞書等で検索すると、「人が善悪をわきまえて正しい行動をするために、守らなければならないもの」などと出てきます。難しい内容に感じますが、簡単に言うと、「善いことを行い、悪いことをしない」「きまりを守って、よりよく生きる」ということです。

これらの活動を道徳の授業を中心として、教育活動全般を通して行おうというのが道徳教育となります。年間35回の道徳の授業の他に、日常接する担任や教職員などの大人との会話や振る舞い、また児童同士の交流を通して、道徳性を育てています。そして道徳性を22の観点（内容項目）から考えます。

道徳性は一朝一夕に身に付くものではありませんし、正解があるものでもありません。こどもたちの道徳性を育てるために、今後も地道に人間としての在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育成していきたいと思ひます。

（文責：道徳教育推進教師 久慈 利幸）

## 4年生の道徳科の時間

この日の授業では、地域の人に昔遊びを教わりながら礼儀について感じ入るこどもたちの姿などを通して、礼儀正しくすることの大切について考えさせ、言葉遣いや振る舞いを正し、誰に対しても礼儀正しく接しようとする態度を育てる授業をしました。

主題名：心を表す礼儀 教材名：「土曜日の学校」

内容項目：「礼儀」

あらすじ：土曜日の学校では、町のボランティアの人たちが昔遊びを教えてください。友花さんは、お手玉教室の節子さんの丁寧な挨拶を真似て、すこし大人になった気分になりました。一方、健さんは、畳屋さんの内山さんから竹とんぼ作りを習いましたが、言葉遣いや振る舞いを注意されてしまいました。こどもたちはこれらの体験を通して、礼儀についての意識を高めていきます。

### 教師の問い

健さんは内山さんに失礼な発言をしてしまった後に、どのような言い方をしたと思いますか。

※役割演技を通して、健さんと内山さんの態度の変化を全員で確認しました。

<役割演技を見ての感想>

- ・健さん役の発言：ここがよく分からないので、教えてくださいませんか。
- ・内山さん役の感想：丁寧な言葉遣いの健さんの振る舞いを見て、丁寧に教えてあげたくなりました。
- ・2人の演技を見た他の児童の感想：何だか、2人の関係がよくなったと思います。

授業の振り返りでは、礼儀正しさについて、こどもたちと考えました。

### 教師の問い

どうして礼儀正しくすることが大切だと思いますか。

### こどもたちの考え

- ・お互いに気持ちよくなるからです。
- ・相手に失礼だし、相手が嫌な気持ちになるからです。

板書・授業の様子です。

